

理念 助仕力
 互奉協
 浜松支部



隊友

はままつ

発行所：公益社団法人 隊友会
 静岡県隊友会 浜松支部

発行責任者：新田 満
 編集責任者：春名 正徳
 題字：寺阪 光男

E-mail: taiyukai.hamamatsu@gmail.com
 ホームページ: http://taiyukai.or.jp/wordpress/

令和7年度富士総合火力演習予行を見学



令和7年6月3日(火) 令和7年度富士総合火力演習(予行)見学に行ってきました。昨年度と同様、今年度も富士総合火力演習は一般公開されていませんが、県隊友会のご高配により見学できる運びとなりました。今回の総火演は浜松支部、引佐連合支部の合同開催となり浜松支部19名、引佐連合支部28名の計47名、内女性13名の参加となりました。

また、当日の天気予報は雨。浜松出発時点で雨は降っています。また、当日の浜松・富士の最高気温は約20℃でしたが、9時頃の東富士演習場近くの気温は12℃とかなり低め、

高速度中から雨になり東富士演習場ではどしや降りの雨、時折小雨になる程度で見学時間中は終始雨は止むことはありませんでした。皮肉なことに浜松に着いた頃、雨はほぼ止んでいました。強烈な雨男がいたに違いない。



会場には雨天にもかかわらず、自衛隊関係者、近隣自治体、関連企業等多くの参加があり、スタンドはほぼ満席の状態、スタンド前

者全員熱心に口数少なめで見学していました。浜松支部はアクトタワー南側を630出発、9時過ぎに会場駐車場に到着、駐車場から20分ほどで会場へ移動し、10時から12時過ぎまで演習を見学、13時頃会場を後にし16時過ぎアクトタワー南側に到着、その後解散となりました。

それに加えての雨でしたので体感はずいぶん低く感じ、かなり寒かったです。そんな気候条件ではありましたが、参加



の会場最前列には陸上自衛隊高等工科学校の生徒が陣取って見学していました。総合火力演習は前段、後段の2部構成で、前段は火炮等の性能・効果展示、後段は諸職種協同による火力戦闘の展示でした。前段の火炮の火力展示の前に来年度から部隊に配備さ



紹介及び12式地对艦誘導弾能力向上型の展開展示がありました。このような新型装備品等を目の当たりにし、我が国周辺の緊迫した情勢を肌で感じるとともに、ドローンを始めとした各種新装備品は時代の流れを感じました。

火力展示では81mm迫撃砲をはじめ、120mm迫撃砲、155mm自走りゅう弾砲の射撃展示がありましたが、特に16式機動戦闘車と10式戦車の120mm主砲の音と衝撃波は全身にズシンと響きました。令和5年度末に引退した74式戦車の105mm主砲とは比較にならないくらい凄まじい迫



アによるウクライナ侵略戦争の影響を受け、戦い方の様相が変わったなと感じました。以前であればオートバイによる有人偵

察があつたのですが、それが今では無人偵察機、ドローンが投入され、オートバイによる有人偵察は最後の手段になったそうです。天候が悪かったため航空機等の参加、落下傘降下等の一部シナリオが省略されました。



また、前段は辛うじて3km先の弾着点が見えていたのですが、後段の演習では3km先の弾着点は雲に隠れて迫力ある弾着の様子は見ることができませんでした。生憎のどしや降りの雨となり、フルスペックの演習とはなりませんでしたが、一生忘れられない記憶に残る1日になったのではないかと思います。今回の富士総合火力演習見学の参加者の皆様、引佐連合



支部の皆様並びに陸上自衛隊関係者の皆様に紙面をお借りして感謝申し上げます。今後とも隊友会浜松支部はこうした行事に積極的に参加し、自衛隊と国民の架け橋として活動してまいりますので、各種行事に参加を希望される方はお近くの役員又はメール等で連絡をお願いします。

「不肖・宮嶋」浜松で講演

5月11日(日)の母の日にアクトシティ浜松コンGRESSセンター4F「静岡『正論』友の会」の第30回講演会が開かれ、報道カメラマンの宮嶋茂樹氏が「不肖・宮嶋 地雷を踏んだらサヨナラ」と題して講演しました。

産経新聞を購読されている方は「話の肖像画」の連載記事やコラム「直球&曲球」で、それ以外の方でも報道カメラマン「不肖・宮嶋」でご存じの方も多いと思います。

宮嶋氏は1992年カシオから始まった自衛隊実動部隊のPKOへの派遣をはじめモザンビーク、ゴラン高原、東ティモール等々2015年の南スーダンまで、すべての現

地に赴き取材しています。また尖閣諸島魚釣島への上陸やロシアのウクライナ侵攻当初から4回の取材を敢行し、多くのメディアが報じないことを報じた現場主義のカメラマンです。講演では国内外の紛争地や災害現場など撮影した様々な写真やあまり目にする事ができないような生々しい迫力ある写真の数々をスライドで紹介をしながらの講演となりました。

ナを侵略したロシアが証明している。十分な装備や人員を備え、同盟国との連帯を強化するしかない。紛争の現場ではヒューマニズムとか話し合いなど通用はしない。そういった事実を日本もそろそろ自覚すべきではないかと述べるとともに、日本人の危機意識の薄さと警鐘を鳴らしたいと講演を締めくくりました。

中谷 記



災害ボランティアコーディネーター養成講座

令和7年度災害ボランティア養成講座が3日間の予定で開催され受講しました。1日目はWEBでの講習で、2日目、3日目は浜松市社会福祉会館での講習で39名(浜松支部から2名)が参加しました。



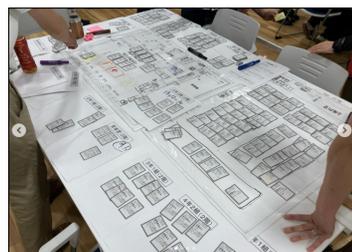
災害ボランティアコーディネーターは避難所運営や地域住民からのニーズの収集・整理を行い、ボランティアセンターでボランティアの受付、オリエンテーション、現場への送り出しを行う役割を担うのが、災害ボ

ランティアコーディネーターです。浜松市の場合場合は、災害時は旧区内に6つのボランティアセンターが設けられ、その設置準備などにも関わります。



講座の3日目の避難所運営ゲームでは5名〜6名のグループで実施する図上演習で、続々と避難者が避難所に来られて、お年寄りの方や体の不自由な方、子連れの方、ペットを連れてくる方、外国人の方などいろいろな避難者を適切な場所に配置するための時間が無く

苦労しましたが、今後起こるかもしれない災害の避難所の運営に役立てると思います。



来年度も浜松支部は災害ボランティアコーディネーターを養成して地域に貢献します。来年度の養成講座参加者を次号の本誌から募集を始めています。浜松市以外にお住まいの方でも受講ができます。受講料は浜松支部から負担しますので、是非とも多くの隊友の受講をお願いします。

春名 記

浜松四季会様より
寄付
四万円

支部活動費としてご芳志を頂戴しました。大切に活用させていただきます。

平和を、仕事にする。
陸海空自衛官募集
最新情報は、ホームページでご確認ください。
自衛官募集ホームページ
自衛官募集 検索

隊友の訃報

山下 耕司 隊友
(元空自 1空団)
令和6年8月1日
逝去

謹んでお悔やみ申し上げます



編集後記

最近インターネットからの申込みやコード決済などが多くパソコンやスマホ必須の時代が到来した。若い人たちは日頃から使い慣れているからスイスイと使えるが歳を取るとまずはスマホの文字が見えず文字を大きくして読んでも読んだ文章を忘れてしまい何度も読み返してしまう。文字を打とうとしても間違えて何度も・・・歳は取りたくないな。

浜松支部行事予定

- ◎一水会:8月6日、9月3日、10月1日
18:30~
浜松市農村環境改善センター
- ◎エアフェスタ浜松:10月26日(日)

公益社団法人 隊友会
県隊友会 お知らせ

<http://taiyukai.or.jp/wordpress/>

浜松支部の会勢

- 数字で見る支部活動(R7.5.30 現在)
- ★実勢会員数:271名
正会員:247名
特別会員:24名
 - ★「隊友はままつ」発行部数:600部
手配り:52部
メール便:219部
郵送:0部
基地内配布:299部
その他:40部